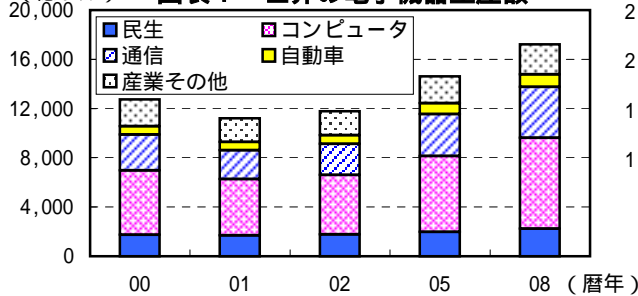


事業構造改革が進む電気機械産業

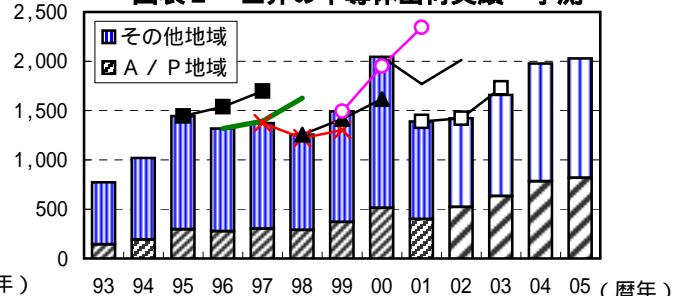
- IT不況に見舞われた世界の電子機器生産は2001年にマイナス成長となったものの、中長期的には拡大していくことが見込まれる。分野別にはコンピュータ、通信が大きく伸長し、全体の牽引役となる見通しにある。
- 半導体市場も2001年に大幅に落ち込んだが、2003年以降アジア市場が牽引役となって本格回復すると見込まれる。
- 大手メーカーの2002年度中間決算は最悪期を脱したものと評価できる一方、今後が楽観できる状況とはいえない。こうした中、競争力強化に向けて半導体事業分野を中心に事業構造改革が進んでいる。
- 数年来続いている日系大手半導体メーカーの合従連衡は「システムLSI」を軸にほぼ3グループに集約されつつある。提携効果がいかに発揮されていくかは、今後に期待される。半導体設備投資も中間決算以降、前向きな取り組みが検討されており、投資の「凍結」時期は脱しつつあるといえる。

図表1 世界の電子機器生産額



(備考) JEITA「世界の電子機器と半導体市場の中期展望」(2002.6)により作成。

図表2 世界の半導体出荷実績・予測



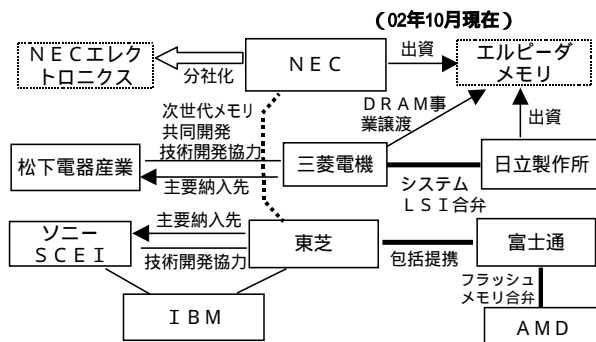
(備考) 1.WSTS統計、同2002年秋季予測により作成。
2.折れ線グラフは当年及び翌年予測値。

図表3 大手電機メーカーの事業再編動向

区分	企業	実施(予定)時期	再編内容	事業分野
提携・合併	東芝・三菱電機	2002.10.1	合併・TMT&D(株)	重電事業
	東芝・松下電器	2003.1.1	合併・名称未定	ブラウン管事業
	沖電気・UMC(台)	2002.9~	包括提携	システムLSI設計・開発
	東芝・NEC	2002.9~	共同開発	半導体メモリ(MRAM)
	日立・三菱電機	2003.4.1	合併・ルネサンステクノロジー(株)	システムLSIほか半導体事業
	東芝・富士通	2002.6~	包括提携	半導体事業全般
	凸版印刷・NEC	2002.10.1	合併・(株)凸版NECサーキットソリューションズ	プリント配線基板
合併・再編	ソニー・アイワ	2002.10.1	ソニーによる吸収合併	A.V家電事業
	日立	2002.10.1	子会社再編(日立北海セミコンダクタほか)	半導体事業
	松下電器	2002.10.1	主要グループ企業5社(松下通信工業ほか)の完全子会社化	電子機器、電子部品
	エルピーダメモリ・三菱電機	2002.10~	三菱電機からの事業譲渡	汎用DRAM事業
分社化	NEC	2002.11.1	NECエレクトロニクス(株)	半導体事業
	NEC	2002.10.1	NECプラズマディスプレイ(株)	PDP事業
	日立	2002.10.1	(株)日立ディスプレイズ	ディスプレイ(FPD)
共同開発	日系半導体11社	2002.7	(株)先端SoC基盤技術開発	半導体設計・製造技術の標準化

(備考) 1.各社プレスリリース内容により作成。
2.2002年4月以降に公表もしくは実施された主要案件を掲載。

図表4 日系半導体メーカーの主要提携関係



図表5 半導体工場設備投資額(国内・増額等)

企業	時期	投資額(億円)	生産品目
松下電器	2002	+120上方修正	システムLSIほか
NEC	2002	+165上方修正	0.13μm対応
ソニー	2003	200前後	CCD増産(デジカメ向け)
東芝	2003~	3,500(4年間)	システムLSIほか

(備考) 2002.9以降の公表または新聞報道により作成。

[調査部(産業調査担当) 菅 四郎]